

千二百万円を回答

新日窒 出水の漁業補償

鹿児島県出水海区漁業補償対策委員会（土屋出水漁協長ほか十一人）と新日窒水俣工場との第七回直接交渉は二十九日午後二時から新日窒側千原専務、西田工場長、石野工場次長ら、出水海区側から土屋対策委員長ほか十一人の委員が出席して出水市役所で開いた。

この日の交渉で新日窒はこれまでの回答額より三百万円上まわる千二百万円（対策委の要求額は八千二万円）を補償したいと回答した。

これによると出水漁協九百万円、野口漁協百万円、東町漁協百万円、黒ノ浜漁協六十万円、西長島漁協四十万円となっているが、同対策委ではこの回答には応じられないと沿岸漁業の現状をくわしく説明、新日窒側も千二百万円の線を守らず、結局同委員会は新日窒に再検討を求めることとし、次回交渉を四月上旬に開くことをきめた。